

永野小学校・学校だより(3月)

2月の学校 そして 子どもたち

校長 志賀光雄

2月は保護者・地域の方々に来校いただく機会がたくさんありました。

まず、子どもたちが生活科や総合学習で学習してきたことを発表する「ニコニコフェスティバル」です。近年、子どもたちのコミュニケーションの力がなかなかついていかないとされていますが、本校のこのフェスティバルは、子どもたちの発表力・コミュニケーション力を高めることも目的の一つとして取り組んできています。

1週間くらい前から、教室に資料を掲示したり、発表原稿を推敲したりと、子どもたちの姿も真剣味を帯びてきているのを感じていました。当日は1000人近くの方々にご参観いただき、子どもたちの発表や、クイズに耳を傾けてくださったり、一緒に活動して下さったりする姿がみられました。子どもたちは、緊張の中にも、たくさんの笑顔を見せていました。皆さんにご支援いただいたことで、とてもよい学習の機会になったと感じています。本当にありがとうございました。

次は、「ふれあいコンサート」です。子どもたち・保護者・地域、そして、職員それぞれが歌声や演奏を披露し、お互いに聞き合う、ほのぼのとした雰囲気の中にも、迫力が感じられる、まちのコンサートです。今年も、最初から最後まで体育館にほぼいっぱいのお客様が来校し、土曜日の午前中のひとときを楽しむことができました。中でも圧巻だったのは、今回初めて参加いただいた横浜スカウツのメンバーによるマーチングバンドの演奏です。普段から子どもたちのドリル演奏には慣れているつもりでしたが、さすが大人の演奏、その迫力には圧倒されました。本校のマーチングバンドの子どもたちも、くいいるように見つめていた姿が印象的でした。また、体育館ではすばらしい歌声や太鼓、三味線などの音色を聞くこともでき、とてもよい音楽交流になりました。加えて、地元のバンドの皆さんの演奏の最後の曲が、6年生が今年、市の体育大会で踊った曲だったものですから、演奏に合わせて大勢の6年生がステージ前に集まって楽しそうに踊っていた姿もとても印象に残りました。

また、今年初めての催しですが、学区の町内会長さん・自治会長さん、「敬老会」のみなさんの代表の方々に学校にお越しいただき、子どもたちの様子や学校の取組などについてお話をいただく時間を設けました。そのときのお話を少し紹介

させていただきます。まず、子どもたちのあいさつのことです。「以前に比べると進んであいさつをする子が増えてきている」という、うれしいお話をいただきました。また、ちょっとしたことで声をかけたときに、「返事がとても気持ちがいい」ということも話題になりました。これもうれしいことです。また、生活科や総合学習のご支援をしてくださることの多い「敬老会」の皆さんからは、子どもたちの活動が充実するかどうかは、まず担任の意気込みにかかっているのご指摘がありました。そして、地域には子どもたちの学習をサポートできる人材が豊富なので、どんどん声をかけて欲しいとの、ありがたいお話をいただきました。更に、日常のパトロール活動を通して子どもたちを守る活動を強化して下さっているお話も伺い、心強い限りです。

また、2月はマーチング・合唱・陸上の3つの特別クラブがそれぞれ発表する場がありました。子どもたちの活動の成果がみられ、また、来年度につながる意欲も感じられました。

ここでは、駅伝大会に出場した子どもたちの紹介をします。毎年、横浜女子駅伝の折に、小学生の駅伝大会が行われています。本校はおととしに次いで2回目の参加です。5人という人数制限がありますので、特別陸上クラブの中からの代表参加という形をとっています。今回のレースでは、鍛えた走りとねばりを見せ、見事2位でゴールしました。1位のチームと競っていたものですから、「永野小、永野小学校」という実況のアナウンスが会場の赤レンガ倉庫周辺に響いていました。普段、早朝からの練習で高めた力が発揮されました。この早朝の特別陸上クラブでも外部からのコーチとして、陸上競技が専門だった教員OBの方から定期的な指導・支援を受けています。その成果もあり、見事な結果となって表れたと感じています。

3月は別れの月でもあり、進級・進学への思いに胸が膨らむ月でもあります。子どもたち一人ひとりが大きな希望を抱き小学校を巣立ち、また進級できることを願っています。

保護者・地域の皆様には今年度も永野小学校への多大なるご協力に厚くお礼申し上げます。

ありがとうございました。